

静岡市都市農業振興基本計画

【概要版】



静岡市

静岡市都市農業振興基本計画

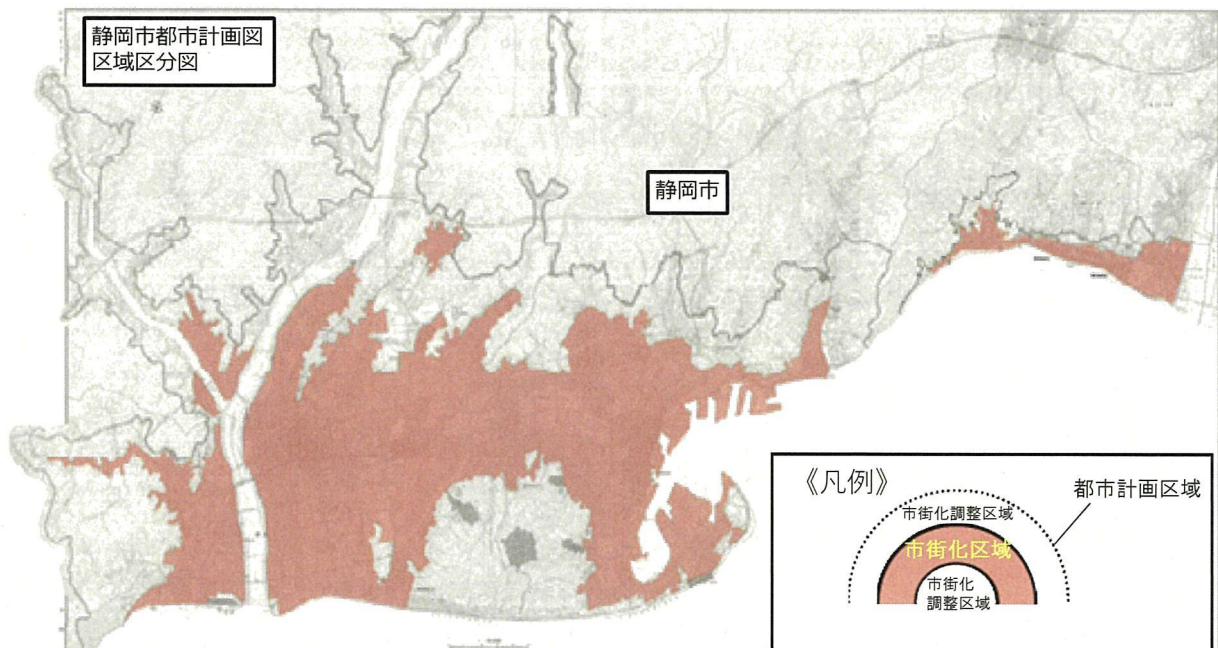
❁ 静岡市都市農業振興基本計画策定の背景

- ◇ 平成27年4月に都市農業振興基本法が制定され、翌年5月には国の都市農業振興基本計画が策定されました。これにより、都市農地の位置づけが従来の「宅地化すべきもの」から「あるべきもの」へと大きく転換されました。
- ◇ 静岡市は人口の約9割が市街化区域内に集中しており、都市農地における農産物の生産と消費とが近接していると言えます。
- ◇ 本市では、地方計画である「静岡市都市農業振興基本計画」を策定し、計画に即した施策を展開することで、都市農地が有する多様な機能（農産物の生産、緑地空間の形成、災害時の防災機能など）の発揮を通じ、市民生活の向上を目指します。

❁ 都市農業の対象区域

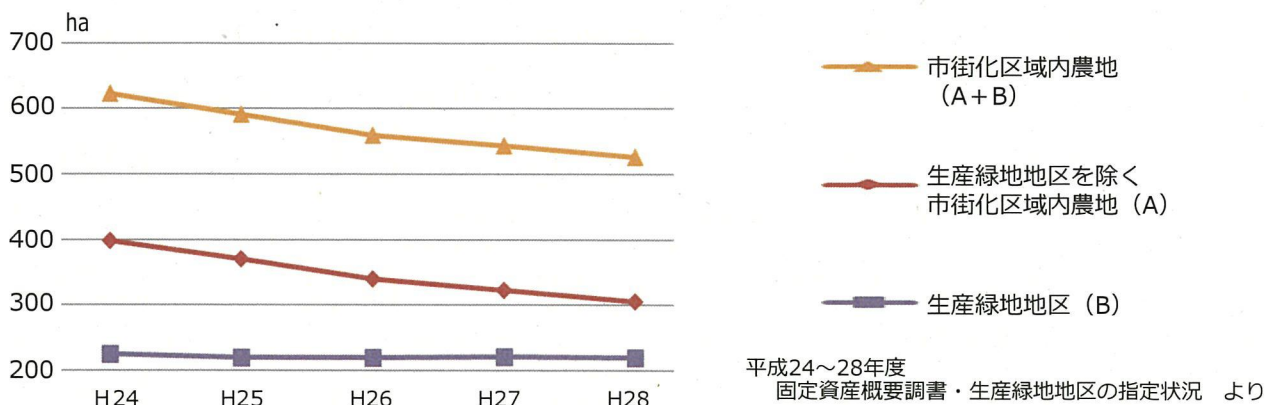
- ◇ 静岡市の都市計画区域のうち「市街化区域内」を都市農業の対象区域とします。
※本市の市街化区域面積は10,474haです。そのうち農地面積は526haです。

いずれも平成29年12月1日現在、一般公表されている面積です。

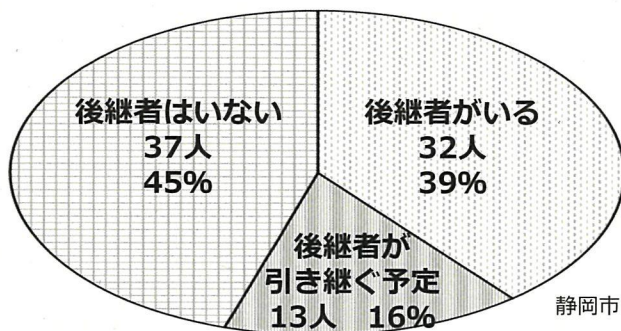


✿ 静岡市の都市農業の現状

市街化区域内農地面積（生産緑地地区 + 生産緑地地区を除く面積）の推移



静岡市都市農業意向調査（後継者はいますか？）



静岡市内の認定農業者のうち市街化区域内農地を使用している82名の回答
平成28年10月実施（静岡市農業政策課）

✿ 地域住民の農業に対する意識

地産地消に関する市民意識調査（農産物を購入する際に生産地を意識しますか？）



いちごやお茶は1/4以上の方が市内産であることを意識しているのね！

平成28年6月実施（静岡市農業政策課）
18歳以上の市民538名の回答

✿ 都市農業の振興における課題

生産振興に関する課題

～都市農業の安定的な継続のために～

①生産供給力の向上

顔の見える農産物や地産地消などの意識の高まりからファーマーズマーケットなどの人気上昇

➡ 早い時間帯（午前中）での品不足

②担い手の確保・育成

担い手の高齢化などによる新たな後継者の確保及び育成

➡ 後継者の確保が困難

都市農地に関する課題

～都市農業・農地が有する機能を有効に発揮するために～

①都市農業と地域住民の共生

都市農地での営農活動により地域住民の住環境に与える影響への懸念

➡ 営農活動に対する相互理解等が不十分

②都市農地が有する多様な機能の発揮

農業体験・教育の場としての活用、災害時の一時的な避難地としての機能

➡ 都市農地が有する機能の発揮が不十分

これらの課題に対して、本市の都市農業が目指す方向性及び将来像を示します。

✿ 都市農業の目指す方向性と将来像

大切な視点

- ◆顔の見える農産物づくり ～消費者目線によるものづくり～
- ◆地域資源としての農地活用 ～地域住民に恵みをもたらす農地活用～

将来像

農業者と地域住民が支えあう元気な“しずおか都市農業”

～地産地消の推進と都市農地が有する多様な機能の発揮を通じ、
都市農業者と住民がともに豊かさを享受し、未来へつなぐ～

✿ 都市農業の基本方針と施策の展開

基本方針 I

都市農業者がいきいきと活躍できる取り組みの推進

～持続可能で元気な都市農業を確立するために～

1

生産振興及び担い手の確保・育成

「地産地消」を推進し、地域の住民に対し安定的に農産物を提供できるよう、生産性の向上や担い手の確保・育成を図ります。

2

高付加価値化及び6次産業化の推進

農産物加工品の開発や新たな販路拡大、農産物の直売所や農家レストランの整備など、6次産業化に向けた取り組みを支援します。

3

優良農地の確保と利用推進

都市部の農地は生産緑地地区制度などを有効に活用することが大切です。今後も土地利用計画との整合を図りつつ、優良農地の確保に努めます。

基本方針 II

地域住民が都市農業を身近に感じられる環境づくりの推進

～地域住民が都市農業を理解し、その価値と魅力を共有できるように～

1

都市農業に対する理解の促進（農好市民の育成）

地域住民が都市農業に対する理解を深めることができるよう、農業を体験する機会を設け、都市農家と地域住民の交流の場を提供します。

2

地域農産物に関する情報の発信

静岡市ホームページ「ZRATTO!しずおか」や地元の地域情報誌などの紙面を活用して旬の食材や直売所などの情報を発信していきます。

3

都市農地が有する多様な機能の発揮

都市農地は緑地・健康・防災などの面で多様な機能を発揮し、生物多様性の保全にも貢献します。これら機能について積極的にPRします。

❁ 都市農業の振興により期待される効果

- 収穫直後の農産物が店頭豊富に並び、新鮮な農産物がいつでも手に入ります。
 - 地産地消レストランや農園カフェなど6次産業化が進展します。
 - 地域住民が農業体験できる機会が増え、心身の健康を増進します。
 - 緑地が住環境などに好影響を与え、良好な都市空間を形成します。
 - 都市農業者と地域住民が“農”を通じ、良好なコミュニケーションを構築します。
- 市民生活満足度のアップ
- 健康・長寿のまちづくりの推進
- 地域住民に安らぎ、潤い、活力を供与
- 「農」から始まる未来につながる人づくり

暮らし続けたい静岡市を実現します

人口減少の抑制に貢献します

❁ 施策の展開にあたり目標指標を設定します

《目標指標 1》

平成34年度
市内ファーマーズマーケット
における都市農業者1人あたりに
平均売上金額 ≥ 143 万円
※平成28年度実績

《目標指標 2》

平成34年度
農産物を購入する際に市内産
であることを意識している
市民の割合 $\geq 30\%$
※平成28年度実績+8%

✿ 関係者の役割と期待される行動

都市農業者

- 地域住民に地元産の新鮮で安心・安全な農産物を安定的に生産・供給する。
- 都市農業・農地の果たす多面的な機能を活かした
 - ・ 農業体験機会の提供
 - ・ 農業知識の伝授
 - ・ 地域住民との交流
 - ・ 地域の環境に配慮した生産活動



地域住民（都市住民）

- 都市農業及び都市農地が貴重な地域資源であることを認識する。
- 地域の中に都市農地を積極的に位置づけ、多様な機能を持つ都市農地を介した
 - ・ 地元産農産物の積極的な購入（地産地消の推進）
 - ・ 都市農業者との交流
 - ・ 農作業体験などへの積極的な参加
 - ・ 農作業における異臭や作業音への理解



連携



農業協同組合など

- 国・県・市などと協力・連携し、都市農業者の営農意欲の向上に向けた取組み。
- 都市農業者への営農指導や研修の実施、都市農業者同士の交流を促進するネットワークの強化。
- ファーマーズマーケットの更なる振興を図るとともに、イベントなどの開催による地域住民との交流の場の提供。



県・市（行政）

- 都市農業の積極的なPRを実施するとともに、都市農業者に対する支援の実施。
- 都市農業に関する的確な情報提供の実施。
- 技術的・財政的な支援の実施。
- 各補助事業の効果的な活用を支援。
- 施策の実施後に適切な評価、検証を行い、着実にフィードバックすることで、新たな施策への反映に結び付ける。



静岡市都市農業振興基本計画【概要版】

平成 30 年3月

静岡市 経済局 農林水産部 農業政策課

〒424-8701 静岡市清水区旭町6番8号

TEL : 054-354-2085

FAX : 054-354-2482

E-mail : nougouseisaku@city.shizuoka.lg.jp